

山かしの里

平成 27 年 8 月 24 日

No.328



じゅうおう

十王地区

コミュニティセンター

TEL 0238-85-2102

FAX 0238-85-2122

グラウンドいっぱい

交流の輪広がる

十王夏まつり開催



↑ 井上千春さんと一緒に元気に歌う子供たち

8月8日(土)恒例の十王夏まつりが山映の里交流広場で盛大に行われました。連日猛暑日が続くなか約450名の十王区民が集まり、子どもみこしやプロ歌手の井上千春さんによる民謡歌謡ショー、盆踊りなどを楽しみながら交流を深めました。

地域の課題について意見交換

7月22日、白鷹町とコミュニティセンターの共催でまちづくり座談会を開催しました。

31名の十王区民が参加し、佐藤町長の挨拶に続いて町からは地方創生の具体的取り組みや、複合施設整備事業について説明があり、質疑応答がなされました。

参加者からは環境問題や複合施設についてなど町全体に係る質問や意見、コミュニティセンター建設や老人ケアに関することなど地域や身近な問題まで幅広い質問がなされ、十王地区の将来に向けて真剣な話し合いがなされました。

その中で特に町の複合施設と十王コミュニティセンター施設を関連付けて質問が出され、地元杉材を活用できないかとの質問に対し、町からは積極的に活用してみたいとの答弁がありました。



地域の要望に対して回答

7月27日に区長会と課長会との懇談会が行われ、十王区の重要要望事項として白鷹町に提出している4項目に対して回答が示されました。

◎重要事項4項目

- (1) 関寺山崩落箇所改修及び二次災害の防止
- (2) 十王地区コミュニティセンターの建設
- (3) 追分・味噌田線の拡幅改良と六差路の解消
- (4) 中十王地内の袋小路の解消

◎町よりの回答

- (1) 県河川砂防課が急傾斜危険地域に指定、順次対応する計画を進める。
 - (2) 地区としての基本的な考え方をふまえ、実現に向けて取り組む。
 - (3) 現地の確認を行い、振興実施計画の中で検討する。地元の意見の集約が必要。
 - (4) 現地の確認を行い、振興実施計画の中で行う。
- その他、町内長を通じて出された要望に対し、十王区として随時対応をしております。

無事故を願って

交通安全部会 安全啓発活動を実施

自治振興会交通安全部会の主要事業の一つである安全啓発活動が7月19日に行われました。夏の安全県民運動にあわせて、役員38名が手分けして全戸を訪問、チラシを手渡し無事故を呼びかけました。

また、訪問先のお宅で交通安全や防犯について日ごろ気になっていることを伺い、関係機関に改善をお願いしました。



先進地に学び

十王らしさを追及

公民館がコミュニティセンターに移行し、自治振興会の活動がスタートして約4ヶ月が経過しました。現在の状況と課題を分析し、先進地の事例を学びながら、十王の特性を活かしたまちづくりを推進するため、川西町のきらりよしじまネットワーク事務局長で、おきたまネットワークセンターの事務局長でもおられる高橋由和さんを講師に、地域づくり研修会を開催しました。

初回は全体研修として、自治振興会の役員を中心に約40名が受講。吉島地区の先進的な取り組みに刺激を受けられた様子でした。

今年度十王地区は、山形県協働の地域づくり推進事業のモデル地区として、県やおきたまネットワークサポートセンターの支援をいただきながら、全4回の研修を通して持続可能な地域づくりを学び、更なる事業発展を図ります。

たくさんの学びと思い出を 夏休み子ども教室

夏休み中の子どもたちに、体験活動や交流を通して地域で楽しく過ごしてもらおうと、様々な内容で子ども教室を開催しました。

7月31日に山形県国際交流員のダニエル・ブルックスさんを講師に「英会話レッスンとサンドイッチパーティー」を行い、イギリスの文化やライフスタイル、簡単な英会話を学びました。

同日、町健康福祉課と共催で「認知症講座」も行いました。三世代同居世帯が多く、子どもたちにも認知症に対する理解を深めてもらいたいと、吉川記念病院の吉川順院長がわかりやすく説明。子どもたちからは「うちのおばあちゃんが認知症になったらばくがお世話します」と、頼もしいコメントもあり、認知症を理解し、家族を気遣う優しい心が育まれていることが伺えました。



認知症についてやさしく説明する吉川院長



8月3日には、置賜農業高校演劇部による「食育子どもミュージカル」を上演。地域の方々やよつば保育園、学童クラブの子どもたちも含め約100人が観劇。好き嫌いをしないで食べ物を大切にすることを学びました。

8月6日には、飯豊少年自然の家出前講座「牛乳パックでホットドック作り」を行いました。火を使うことが少なくなっている子どもたちにとっては貴重な体験だったようです。参加した子どもたちは「簡単で楽しくおいしくできるので家でもやってみよう」と笑顔をみせていました。

本格的なミュージカルに子ども大人も夢中



牛乳パックに火をつけてホットドックを焼いています

高齢者安全運転講習

8月5日、交通安全協会荒砥支部主催の「高齢者交通安全講習会」が十王地区コミュニティセンターで行われました。13名の方が参加され、山形県警職員の指導で「反応の速さとむら」「正確なハンドルの操作」など5項目を診断する運転適性診断を体験受講しました。

安全運転意識新たに

講師より一人ひとりに合った運転時のアドバイスを受け、受講された皆さんは安全運転への意識を新たにされ、「ゆとりある運転を心掛けた」とお話されていました。



**お申し込み・お問い合わせは
十王地区コミュニティセンター TEL 85-2102**

協働の地域づくり推進事業

まちづくり研修会にご参加ください

これからの地域づくりについてみんなで考えましょう。

◇日時 9月9日(水) 午後7時～

◇場所 十王地区コミュニティセンター

◇講師 きらりよしじまネットワーク

おきたまネットワークサポートセンター

事務局長 高橋由和さん

お申込みは不要です。直接会場においでください。

元気アップ教室

▽日 時 9月9日(水) 午前10時～

▽場 所 十王地区コミュニティセンター

▽参加費 無料

▽申込み 8月31日(月)までセンターへお願いします。(85-2102)

動きやすい服装でご参加ください。

関寺山の工事が始まります

昨年の大雨により崩落した関寺山の工事説明会が8月18日に地権者と近隣の住民を対象に行われました。

工事は4回に分けて行われる予定で、今年度は工事用道路の整備と崩落箇所の工事が行われます。今後、通行止めになる場合は回覧等でお知らせいたします。

また、来年の皇大神社の祭礼ができるように工事を進めていくとの説明もなされました。

あ と が き

十王の真夏の一大イベント、恒例の十王夏まつりは、今年も大勢のご参加により賑やかに開催されました。子どもたちの元気な姿がまつりに華を添えてくれました。

子ども会育成会や放課後子ども教室など、地域全体で子どもたちを育む取り組みとして、夏休み中もたくさんの方々の学びと交流の機会がありました。地区内の多くの方々のご協力により様々な行事を実施できることに感謝致します。

来月のレク大会も、子どもも大人も笑顔が溢れる楽しい一日になりますようぜひ皆さんでご参加ください。

あおき

第44回十王地区

レクリエーション大会

9月13日(日) 第44回十王地区

レクリエーション大会を開催します。選手の皆さん、応援の皆さん奮ってご参加ください！ 詳しくは後日ご案内いたします。

Jアラート活用の拡充について

昨年十王地区コミュニティセンターに設置されたJアラート(全国瞬時警報)システムが、今回八卦ポンプ庫にも設置され、伝達範囲が拡大されました。

このシステムを活用し、10月からは火災発生時のサイレンも吹鳴することになります。住民への新しい伝達方法として、その活用が検討されています。

土曜教室のご案内

時間 月日	9:30~ 10:30	11:00~12:00
8/29	えいごであそぼう	アロマクラフト 柑橘系のルームスプレーを作ります。ご希望の方はハンドマッサージもつけられます。 お茶お菓子付き 持ち物：ハンドタオル2枚 材料費：300円
9/19	えいごであそぼう	大人の英会話
9/26	えいごであそぼう	大人の英会話

※アロマクラフトは8月27日までお申し込みをお願いします。

※9月5日(土) 12日(土)は休館になります。